

令和8年6月号

鹿浜こども園だより



令和8年6月1日
足立区立鹿浜こども園
第一園舎 Tel.3855-4447
足立区鹿浜5-25-11
第二園舎 Tel.3897-8515
足立区鹿浜5-24-4-101
園長 澤田 好

危機意識を高める

梅雨の季節を迎え、雨の日が多くなる時期となりました。子どもたちは、室内でも元気いっぱい遊びを工夫しながら、季節ならではの自然や変化を感じています。

先日は、引き取り訓練にご参加いただきありがとうございました。保護者の皆様の危機意識が感じられる時間でした。当日もお話しさせていただきましたが、近年は全国各地で大雨による被害が増えており、気象情報への関心も高まっています。5月29日からは、気象庁が発表する水害に関する危険度の伝え方が新しくなり、より分かりやすく避難のタイミングを判断できるよう変更されました。園でも日頃から気象情報を確認しながら、安全を第一に保育を行ってまいります。特に梅雨時期は、急な大雨や雷雨など天候が変わりやすくなります。送迎時には、最新の気象情報をご確認いただき、無理のない登園・降園にご協力をお願いいたします。また、緊急連絡への迅速な対応ができるよう、連絡先等の確認もあわせてお願いいたします。

子どもたちが雨の季節の自然に親しみながら、毎日を安心して楽しく過ごせるよう、園でも安全管理に十分努めてまいります。ご家庭でも体調管理や天候への備えにご協力ください。

園長 澤田 好

鹿浜こども園の教育目標

げんきなからだ
やさしいところ
かんがえるちから

心豊かで たくましい
「遊ぶの大好き・笑顔いっぱいの子ども」
を育てる

【行事予定】

6月		
1日	月	安全指導
3日	水	眼科検診（4・5歳児）13:15～
9日	火	不審者対応訓練
10日	水	保育参観・参加（1・2・3歳児） ※6/17まで
11日	木	内科検診（第二）13:00～
15日	月	個人面談始 ※6/25まで
16日	火	身体測定
18日	木	誕生日会／内科検診（第一）13:00～ 親子絵本読み語りデー（計3回）
19日	金	安全指導
23日	火	プール始め（4・5歳児） 水遊び避難訓練（～26日）
24日	水	歯科検診（第二）10:00～ （第一）10:30～
26日	金	園内研修 短時間保育児 13:00 降園

7月		
2日	木	避難訓練
7日	火	七夕（全クラス）
14日	火	AED訓練
15日	水	身体測定
16日	木	安全指導／誕生日会 親子絵本読み語りデー（計3回）
17日	金	終業式（4・5歳児） 短時間保育児 11:45 降園 園内研修
21日	火	夏季休業日始（短時間児）
29日	水	避難訓練（朝）
30日	木	夏季プール（4・5歳児）
31日	金	夏季プール（4・5歳児） お楽しみ会（5歳児）

<ひよこ組>

靴や帽子を指さして遊びに行きたい気持ちを伝えてくれるほど園庭遊びが大好きです。行動範囲が段々と広くなり、面白そうなことに気づいてその場所まで自分で行ってみようとするが増えました。

2、3歳児が水遊びや泥遊びをしていた場所へ行っ
て同じように触ったり、まねっこをしてみたりして
います。砂や泥の感触を楽しみながら一緒に遊んで
いるうちに、ふと目が合うとにっこり笑ってくれる
ことが増えました。子どもたちの表情が豊かになり、
保育者に面白かったことや、楽しいことを伝えてく
れています。その表情に併せて「冷たいね」「気持ち
いいね」などと、言葉にして伝えることを大切に
しています。



ねらい

- ・気候や気温の変化に配慮して、水分補給を行ったり、衣類の調節をしたりしながら気持ちよく過ごせるようにしていきます。
- ・保育者と一緒に水や砂・泥に触れ、感触遊びを楽しんでいきます。

<りす組>

園庭に出ると、大好きな水や泥遊びがはじまります。透明のカップやペットボトルに水や砂を入れて「きらきらね」「せんせー、こーひー！はいどうぞ～」と見立て遊びやごっこ遊びが始まります。水遊びで使う玩具を自分で探しにいき、何を探しているのか聞いてみると、「ごはん、はこぶの(作ったご飯を運ぶお盆を探している)」と具体的なイメージを遊びにしていることが伝わってきます。保育者と一緒に裸足になって、「つめたい！」「どろどろ～」と泥の感触を楽しんでいます。

保育者も、子どもたちと水や泥に触れて遊び、その中で一人ひとりとのイメージを共有しながら、一緒に楽しんでいきます。



ねらい

- ・保育者や友達と一緒に水や泥に親しみ、見立てて遊ぶことを味わっていきます。
- ・帽子の着脱や、衣服の着脱など身の周りのことを自分でやろうとする気持ちを大切にしていきます。

<うさぎ組>

暖かい日は水遊びを楽しんでいます。水溜まりになったところから次は泥遊びが始まり、裸足になって手や足で泥の感触を存分に感じています。ヌルとした泥の感触を「チョコみたいだよ！」と友達や保育者に伝え、ケーキ作りをするなど見立て遊びが広がっていくこともあります。

といを使っての水遊びでは、バケツやタイヤを使って高さや角度を調整し、水を流して遊んでいます。翌日も遊びが続き、「昨日こうやったら水が流れたよね」と経験を生かしながら、といを組み合わせています。試行錯誤しながら遊ぶ姿を大切に、保育者も一緒に考え、遊びを楽しんでいます。



ねらい

- ・感じたことや考えたこと、イメージしたことを、言葉や動きなどで表現することを楽しんでいきます。
- ・着替えの順序が分かり、自分でやろうとする意欲を認め自信に繋げていきます。

<ぱんだ・こあら組>

園庭ではグミの木の実が赤く色づき始め、子どもたちは「赤くなっている！」と発見を楽しんでいます。

「これでいろみずする！」と遊びに繋がり、色の変化や違いを感じながら、「これはりんご」「これはブルーベリー」とジュース屋さんごっこへ遊びが広がっていました。

保育室やテラスでは、自分たちでほうきや雑巾を手にとって「ここも砂あるよ」と友達と声を掛け合いながら、「きれいになったね」と身の回りを綺麗にする心地よさを感じ始めています。

友達と声を掛け合いながら、協力して取り組む楽しさを感じられるようにしていきます。

ろ過器を使って皮や種を取っています。



自分たちの靴箱を綺麗にしています。



ねらい

- ・遊びの中で水や砂、泥の感触を楽しめるように環境を作っていきます。
- ・身の回りのことを自分でやろうとする気持ちを大切にしていきます。

<ぞう・きりん組>

友達と話し合いながら、困ったことを解決しようとしたり、自分の思いを言葉で伝え合ったりする姿が増えてきています。

影絵遊びでは、「やりたい！」と人数が集まり、どのようにしたら皆が自分の影を作ることができるか、悩んでいる場面がありました。話し合いが続いていく中で、「男子チームが女子の影を当てる、女子チームが男子の影を当てるのは、どう？」と全員が納得できる考えが生まれていました。

子どもたち同士で話し合う時間を大切にしながら、自分の思いを伝えたり、相手の考えを聞いたりする姿を大切にしていきます。



2人組を作ってる？

こうやって、動いてみようよ！



ねらい

- ・話し合いを通して、相手の思いに気づき受け入れられるよう関わっていきます。
- ・友達と考え合いながら、遊びを広げていけるような教材を準備していきます。

<かぜのじかん>

4歳児が毎日楽しんでいる色水あそび。いつものように遊んでいると、5歳児の友達が「それ、どうやって色作ったの？」と聞きに来ました。「私は、あそこからとってきたの」「そこに豆みたいなのをいれて、皮を取って潰したんだよ」と日々経験してきたことを友達に伝えていました。年齢関係なく、自分たちがやってきたこと、知っていることを相手に伝えようとする姿が増えていきます。色水を作るだけでなく、そのあとは「お店にしたいんだよね～」と5歳児。素敵なカフェにするために「ここに飾ったらどうかな？」とイメージも様々です。遊びの展開は子どもたちにとって無限です。さらに面白くなるよう一緒に考えていきます。



まだまだ色が薄いなあ…。もっと混ぜてみる！

このくらい？もっと潰す？

ムーンきらきらカフェ★って名前にする！



ねらい

- ・異年齢の友達と関わりながら、共に発見したり楽しんだりする中で、思いやる気持ちがもてるよう深めていきます。